資料７

産業統計部会の審議状況について（報告）
（作物統計調査の変更）

項　目	変更内容等	部会審議 第１回	部会審議 第２回	部会審議 第３回	審議の状況
１　耕地面積調査に関する変更	(1)　人工衛星画像等を活用した事務の効率化（実測調査の代替）	●	●		**・引き続き審議** （耕地面積調査に関する変更事項のうち相互に密接する事項について一体的に審議を行ったが、次回部会においても引き続き審議を行う。） 【委員等からの主な意見】 ◆筆ポリゴンで捉える耕地と、耕地面積調査で定義する耕地とが一致しているかを確認することが重要 ◆筆ポリゴンは農政全体の重要なデータ基盤でもあり、安定的に整備・運用されることが重要 ◆筆ポリゴンの更新において、AIがどのような処理を行い、人による確認とどのように役割分担しているのか ◆AIによる抽出後の目視確認や現地確認の要否について、担当者の主観によらず、客観的な基準に基づき判断される仕組みとなっているか ◆AIによる抽出漏れや偏りの可能性を踏まえ、現地確認等による継続的・定期的な検証の枠組みや、農地パトロール等の情報も活用した精度向上を検討すべき ◆AIの改修や筆ポリゴンの目視確認等を担う民間事業者を安定的に確保し、事業者が替わっても、蓄積された知見や判断基準が適切に継承されるようにすることが重要
２　水稲以外の作物に関する調査の変更	(1)　全国調査を周期的に実施する作物に係る全国調査実施年の見直し		●		（第2回部会において審議予定）
	(2)　行政記録情報等の活用による調査の一部代替（茶・花き）		●		（第2回部会において審議予定）
	(3)　二段階公表（概要（第1報）、詳細（確報））の一本化（花き）		●		（第2回部会において審議予定）
過去の答申（※）で示された「今後の課題」への対応状況 （※）令和7年3月21日	最新の農林業センサスによる母集団情報を利用できるようにするための変更		●		（第2回部会において審議予定）

※部会日程
- 第1回（第149回産業統計部会）：令和8年10月26日（月）に開催
- 第2回（第150回産業統計部会）：令和8年11月25日（水）に開催予定
- 第3回（第152回産業統計部会）：令和8年12月11日（金）に開催予定
- 予備日：令和9年1月（未定）